

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	4111	施策名	地元で働けるまち	主 担 当 課	経済観光活性課
大項目	活気あるまちづくり				
基本 方針	企業立地促進法に基づく岡山県基本計画で重点促進区域に指定されている県営笠岡港(港町地区)工業用地への優良企業の誘致を図ります。 民有地においても、各種優遇制度を活用し企業誘致を推進します。 企業誘致などにより雇用の場の確保、拡大を図り、市民が地元で働けるまちを目指します。 また、新たな雇用創出につながるよう、起業しやすい環境の整備に努めます。			関 係 課	干拓調整課

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	企業誘致促進事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
企業			市民の働く場所を確保するために、市内の適地に優良企業を誘致する。			・企業誘致を積極的に推進する。 ・企業誘致促進のための助成制度、優遇措置等を充実するとともに、企業誘致体制の強化を図る。						
取組 内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	●県営笠岡港(港町地区)への優良企業誘致 企業誘致のPR活動(工業団地のパンフレット等を活用)行う。 ●民間活力を活用した工業団地造成 新設土地造成促進奨励金等のPRと活用 ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページへの掲載とパンフレットを活用したPR			⇒			⇒			⇒ 企業誘致データによる効率的企業誘致活動の実施 <企業誘致訪問件数:3社>		
直接 事業費	決算額	123	千円	決算額	120	千円	決算額	212	千円	決算額	1,526	千円
	うち 一般財源	123	千円	うち 一般財源	120	千円	うち 一般財源	212	千円	うち 一般財源	1,526	千円

2	新設工場等設置奨励事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)			意図(どのようにしたいのか)									
企業			市民の働く場所を確保するため、市内の適地に優良企業を誘致する。			企業誘致をした後の企業に対する経営負担を軽減する。						
取組 内容	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	●民間活力を活用した工業団地の造成 新設工場等の奨励金のPR ●優遇制度のPR 笠岡市のホームページに掲載とパンフレットによるPR活動			⇒			⇒			⇒ <補助金交付件数:4件>		
直接 事業費	決算額	16,776	千円	決算額	11,362	千円	決算額	8,270	千円	決算額	6,276	千円
	うち 一般財源	16,776	千円	うち 一般財源	11,362	千円	うち 一般財源	8,270	千円	うち 一般財源	6,276	千円

3	勤労者福祉事業											
事務事業の目的					事務事業の内容							
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市内勤労者		社会環境の整備及び福祉の向上			余暇活動の場である労働福祉会館、勤労青少年ホーム、サンライフ笠岡でのスポーツ・レクリエーション、文化教養サークル活動の育成、充実を図る。勤労者の生活の安定と福祉の増進を図るため、笠岡市勤労者融資貸付事業を実施する。							
		平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●3館の利用の促進 スポーツやレクリエーション、文化教養サークル活動のPR活動を行う ●創業支援、育成 制度のPRによる活用促進 ●ベンチャー企業の育成 補助制度の制定の可否の検討		⇒			⇒			⇒ サンライフ笠岡の内装改修事業		
直接事業費	決算額	50,285	千円	決算額	45,704	千円	決算額	53,518	千円	決算額	46,712	千円
	うち一般財源	50,285	千円	うち一般財源	45,704	千円	うち一般財源	53,518	千円	うち一般財源	46,712	千円

4	企業・雇用情報の提供システム構築事業											
事務事業の目的						事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)										
市内に住居及び就職先を探している人、企業進出を検討している企業		市内企業の情報を公開することで、①移住・定住を希望する利用者の利便性が向上し、定着人口の増につながる。②企業の活性化、企業誘致につながる。				市内の企業の企業情報、雇用情報を公開する。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容	情報更新および新規登録企業の獲得			⇒			⇒			システムの機能改修(スマホ対応)を実施 大学生ワークショップによるシステム改修意見の聴取		
直接事業費	決算額	6,954	千円	決算額	2,037	千円	決算額	1,974	千円	決算額	2,847	千円
	うち一般財源	6,954	千円	うち一般財源	2,037	千円	うち一般財源	1,974	千円	うち一般財源	2,847	千円

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度	
直接事業費	74,138	千円	59,223	千円	63,974	千円	57,361	千円		
うち一般財源	74,138	千円	59,223	千円	63,974	千円	57,361	千円		

<4.指標>

指 標 名				目標・実績の推移					
				H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H29 目標
1	事業所数(工業統計調査)	単位	目標				150	130	133
		事業所	実績	128	133	128	118	—	
			達成率				78.7%		
2	従業者数(工業統計調査)	単位	目標				4,675	4,680	4,820
		人	実績	4,988	4,501	5,076	4,953	—	
			達成率				105.9%		
3	笠岡公共職業安定所管内の有効求人倍率	単位	目標				0.85	0.87	0.92
		倍	実績	0.49	0.73	0.78	0.85	1.27	
			達成率				100.0%	146.0%	
4	新規参入企業数(H18からの累計)	単位	目標				6	7	10
		企業	実績	4	4	5	6	6	
			達成率				100.0%	85.7%	
5	起業支援事業補助金の交付件数	単位	目標				3	5	8
		件	実績	2	5	11	8	8	
			達成率				266.7%	160.0%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・農商工連携による高付加価値商品の開発や、特産品づくり、およびそれらをもとにした観光づくりが望まれます。	→ ・平成26年3月に産業振興ビジョンを策定し、この産業振興ビジョンの具体的施策を計画的に実施するために4月にかさおか新しいしごとづくりセンターを建設産業部に設置しました。センターの職員は、経済観光活性課と農政水産課の職員とで構成されています。センターでは、企業誘致、中小企業振興、起業支援に加えて、笠岡ブランドの推進や農林水産業の6次産業化や観光振興にも取り組むこととしています。 ・地域ブランドを確立していくためには、地域に住む人々が自らの地域に誇りと愛着を持つことが必要です。現在、地域住民、生産者、商工業者等多くの関係者が参加する「かさおかブランド協議会」におきまして、市民参画、協働のもとに、笠岡青年会議所が事務局となり積極的に事業を進めております。笠岡市もかさおか新しいしごとづくりセンターの職員が参加し共に活動いたしております。
・指標の従業員数(工業)が平成20年度から5年間で1000人も減少しているが、実態がよく分からないという説明だった。理由を把握して、今度の対策を行っていただきたい。	→ ・平成26年3月に産業振興ビジョンを策定し、3つの柱の一つを「地元中小企業振興・起業支援」としています。平成26年7月に企業経営の知識を有する企業コーディネーターを採用し現在、市内の製造業を中心とする事業所を訪問し、市内事業所の状況の把握、分析を行っております。 ・笠岡市内と市外とのヒト・カネ・モノの流れを把握するため、来年度以降産業連関表の作成を予定しています。また、それに基づいた経済構造分析を行い、笠岡市の地域経済の持続的発展の施策を考えてまいります。
・外部からの企業誘致とともに、市内農産物の二次製品を開発し、市内で働ける場を設けることも検討されたい。 ・大企業誘致も大事だと思いますが、生まれ育った地域で若手が活躍できる地域づくりをするためにも、自立しやすい、起業しやすいまちづくりを進めるべきだと思います。	→ ・平成26年3月に産業振興ビジョンを策定し、この産業振興ビジョンの具体的施策を計画的に実施するために4月にかさおか新しいしごとづくりセンターを建設産業部に設置しました。センターの職員は、経済観光活性課と農政水産課の職員とで構成されています。センターでは、企業誘致、中小企業振興、起業支援に加えて、笠岡ブランドの推進や農林水産業の6次産業化や観光振興にも取り組むこととしています。 ・平成25年12月に笠岡商工会議所、市内金融機関、そして市役所が連携して「かさおか創業サポートセンター」を設立しました。このセンターでは、これから起業・二次創業・新事業展開を考えている個人・法人を対象に、金融機関や商工会議所のノウハウを活かし起業に関する各種の相談から起業後のフォローまでを行っています。また、笠岡市でも産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画が平成26年3月に国から岡山県下では岡山市・倉敷市とともに認定を受けました。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
--------	--	---

<7.施策の課題と改善案>

課題と改善案	・岡山県南部への進出意欲のある企業はあるが、県営港町工業用地は、沿岸地域にあること、地盤が軟弱であること等により、なかなか企業の要望に応えられていない。民有地についても、市内の適地が少ない状況にある。 ・景気の回復による地元企業の採用意欲は向上しているが、逆に大学生は大手企業志向となり、優秀な人材が確保しにくい状況となっている。地元中小企業の魅力を発信する必要がある。
--------	--

<8.委員による評価結果>

総合評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	C
コメント	・笠岡市を特徴づける農林水産資源、伝統工芸、地場産業、名所旧跡等の地域資源を掘り起こし、それらを観光および6次産業化に結び付ける仕組みづくりを検討する必要があると考えられます。 ・近年、有効求人倍率は良くなっているが、企業にとっては逆に若者が外に出てしまうことにもつながる可能性がある。地元の企業への就職ができるように、さらに企業情報、雇用情報を提供していただきたい。			